

JAIST未来ビジョン

～世界トップの研究大学を目指して～

2021年1月



国立大学法人
北陸先端科学技術大学院大学

JAIST未来ビジョン

～世界トップの研究大学を目指して～

北陸先端科学技術大学院大学は、創立以来、先端科学技術の広い分野で世界トップレベルの研究を推進し、これを背景とした人材育成と社会貢献に努めるとともに、大学改革の先導的モデルとして新しい大学院像を示してきた。

この使命を受け継ぎつつ、独自の研究の高度化と先鋭化を進め、『世界トップの研究大学』へと飛躍するためのビジョンと基本戦略を策定し、その実現を通じて世界の持続的発展に貢献する。

■ビジョン

北陸先端科学技術大学院大学は、独自の研究の高度化と先鋭化を進めつつ、国内外の大学や研究機関、産業界とのグローバルな連携に基づく新たな共創により、科学技術の未来を拓き世界の持続的発展に貢献するイノベーション創出拠点として、世界トップの研究大学を目指す。

全学一研究科体制の下、意欲に溢れた学生を国内外から広く受け入れ、先端科学技術の確かな専門性を持ち、新たな時代を先導する『しなやかな強さと共創力』を備えたグローバルリーダーとして育成する。

■基本戦略

1 本学独自の研究の高度化・先鋭化とグローバルな共創的イノベーション創出研究の推進【研究】

本学独自の研究の高度化・先鋭化を進めつつ、国内外の大学や研究機関とのグローバルな学術的連携と研究成果の社会実装を目指した産業界との幅広く緊密な連携により、科学技術の未来を拓き社会に変革をもたらす共創的イノベーション創出研究を推進する。研究力向上を目指した博士後期課程の重点化を推進する。

2 『しなやかな強さと共創力』を備え自主性に富んだグローバルリーダーの育成【教育】

意欲に溢れた学生を国内外から広く受け入れ、個々の学生の学修計画に対応し得る先進的な教育カリキュラムと世界トップレベルの研究を通じた専門性の高い研究室教育に加えて、産業界の知を教育にも活用することで、幅広い視野とともに『しなやかな強さと共創力』を備え自主性に富んだグローバルリーダーとして育成する。

3 高度でダイナミックな社会連携と人材循環による社会貢献【社会貢献】

世界トップレベルの研究を背景とした、高度でダイナミックな社会連携と多彩なリカレント教育による人材循環により、世界の持続的な発展に貢献する。

4 組織・業務改革と人事マネジメント改革に基づく戦略的経営【経営】

多様な取組による強固な財務基盤の構築とともに、デジタル化の推進による組織・業務改革と人事マネジメント改革により、世界トップの研究大学を目指すイノベーション創出拠点として戦略的経営を推進する。

実現に向けた施策

(1) 独自の研究の高度化・先鋭化と新しい研究分野・研究領域の開拓

- IR機能の強化による研究力分析・動向分析を活用したエビデンスベースの研究支援
- 新分野・新領域開拓支援制度の確立
- 世界トップ人材の獲得
- 研究力向上を目指した博士後期課程の重点化の推進
- 博士後期課程学生の独自研究支援制度の確立
- 東京サテライトにおける研究システムの改革

(2) JAISTサイエンスハブの構築

- エクセレントコア、リサーチコアを核とするイノベーション創出拠点の発展
- 国内外の大学や研究組織との多彩な連携研究センターの設立
- クロスアポイントメントを含めた柔軟なグローバル研究ワークスタイルの促進
- 研究者や学生の交流の場「JAIST国際セミナーハウス（仮称）」の設置と活用

(3) 研究支援制度・体制の拡充

- URAの機能・役割の拡張と高度化
- 研究成果の社会実装の推進と支援制度の確立
- 大型外部資金獲得支援の強化
- プロフェッショナル国際広報の促進
- IR分析に基づく社会的インパクト向上策の充実
- 知財部門の強化と効率化

実現に向けた施策

(1) 『しなやかな強さと共創力』を涵養しリーダーシップを育む教育研究制度の充実

- 博士後期課程学生を中心とした世界のトップ大学とのグローバル共同研究への参画
- 博士後期課程学生向け長期インターンシップ制度の展開
- 博士後期課程における副テーマの博士学位論文評価への組み込み
- 産業界と連携した学生の研究成果の社会実装支援制度の整備
- グローバルリーダーとして育成するためのダイバーシティ環境とアントレプレナーシップ教育の充実

(2) カリキュラムおよび教育システムの改革

- 研究領域毎の推奨カリキュラムの作成
- 博士学位論文の質の向上を目指した審査・認定制度の改革
- 「遠隔教育研究センター（仮称）」の設置と教育研究におけるデジタル化の推進
- 情報科学と知識科学の基礎と方法論の全学教育（データサイエンス、AI、知識マネジメントなど）
- 東京サテライトにおける教育システムの改革と本校との講義の連携

(3) 意欲に溢れた多様な学生の獲得

- 博士後期課程も視野に入れた推薦入学制度の整備（教員推薦、大学推薦、企業推薦）
- 入試システムのデジタル化推進
- より広範な志願者向け広報の実施

(4) 産業界との連携を通じた共創型イノベーション人材の育成

- 企業との共同研究への学生の参加促進
- 企業インターンシップ／エクスターンシップの活用
- 産学官連携客員教員による研究指導や講義の実施

(5) 多様なニーズを踏まえた学生支援

- 修学支援制度の改革・充実（労働対価型）
- 留学生および博士後期課程学生へのキャリア支援の充実
- 博士後期課程学生に対する企業奨学金の充実

実現に向けた施策

(1) 最先端研究・融合研究を背景とした高度でダイナミックな社会連携の推進

- 地域をはじめ国内外の産業界との連携支援体制の強化
- 国内外の企業や研究機関などとの組織間大型共同研究の推進
- 大学発ベンチャーなど研究成果の社会実装の推進と支援制度の確立
- 「Matching HUB」の推進と全国展開による地域活性化／地方創生への貢献
- 共同研究への学生の参加促進

(2) 産学官連携組織・体制の充実

- URAの機能・役割の拡張と高度化
- 学内組織および制度の改革
- 一般社団法人JAIST支援機構の活用

(3) 特色ある多様なリカレント教育の推進

- 社会人のニーズやライフスタイルに応じた教育プログラムの開発
- 産業界を対象とした外部資金による「デジタル化支援センター（仮称）」の設置
- 社会人教育のデジタル化の推進
- 東京サテライトと本校との講義の連携

実現に向けた施策

(1) 強固な経営基盤の構築

- 大学総合戦略室の機能拡張と学長・理事懇談会の開催
- 多様な財源の確保による財務基盤の強化
- 一般社団法人JAIST支援機構の活用

(2) 業務運営におけるデジタル化の推進

- 事務作業・業務のデジタル化とそれに対応した組織作りの推進
- 働き方改革の推進

(3) 人事マネジメント改革の推進

- 職位別教員構成の長期的目標値の設定と実現
- テニユア・トラック制を活用した若手研究者の積極的採用
- 将来への希望や適性を反映し、女性管理職登用等を見据えた事務職員育成システムの構築
- 事務職員の他機関との人事交流の促進
- 教職員との「プレジデントダイアログ（学長との対話）」の継続的实施

(4) 大学運営の可視化と積極的な情報発信の推進

- 教育・研究におけるグローバル広報の推進
- ステークホルダーを意識した情報発信の推進
- 新聞・各種メディア等のマスコミの積極的活用